

## 地域人材ネット

### 山川海ネットワークの構築による 多様な主体の環境保全活動の推進

畑井 育男 ( はたい いくお )

新雲出川物語推進委員会 委員長



#### ○ 登録者情報

##### 所在地

三重県津市

##### 略歴

1973年3月 早稲田大学教育学部卒業

1973年4月～2004年6月

三重県漁業協同組合連合会に勤務。

(主として海の問題にかかわり、海域環境保全活動、漁民の森造成運動等を推進)

2004年8月

伊倉津産業株式会社取締役(2006年6月より代表取締役社長就任、2014年5月退任)

2008年9月

新雲出川物語推進委員会を創設し委員長に就任(現在に至る)

このほか、三重県水産および環境関係審議会・委員会委員、津市総合計画・環境関係審議会委員を歴任し、財団法人東海水産科学協会・海の博物館調査員として漁村実態調査を実施。また、(財)三重県環境jp全事業団・環境アドバイザーにも登録。

## 著書・論文等

「地球を救う133の方法」(共著)家の光協会発行  
「伊勢湾は豊かな漁場だった」(共著)風媒社発行

## ○ 山川海ネットワークの構築による 多様な主体の環境保全活動の推進

### 取組の内容

津市を流れる一級河川である雲出川流域の環境保全活動を推進するため、森林組合、河川漁協、沿海漁協、農業法人の生産団体に加えて、市民団体、青少年育成組織、さらには企業の参加による横断的な組織づくりにより、従来の環境保全活動の枠組みを超えた広域的な運動展開を行っています。しかも、行政に頼りがちな組織運営を民間主体で実行しています。

また、多様な主体を構成員としていることで、雲出川流域の水質保全等に対する意識の高まり、地域産物に対する再評価を行い、地域間交流も活発に行われつつあります。

### 実績

新雲出川物語推進委員会(構成団体8団体)で、メール会員は60団体(人)となり、雲出川流域の環境保全活動を展開しています。具体的には以下の通りです。

#### ① ネットワークの森の造成

雲出川最上流にネットワークの森(0.9ha)を造成、落葉樹の植樹(合計380本)を行い、以降も毎年下草刈り等の森林管理を実施しています。毎回、50~200名が参加しています。また、子供達を対象に地元材(杉)を利用した木工教室も開催しています。

② 雲出川中流域での清掃活動、稚魚放流等を実施しています。(参加者180名程度です。)

③ 海岸部において、地引網体験、子供達に対する浜辺学習会等を実施しています。(参加者は150~250名です。)

④ 各事業実施のつど、地元産品のPR活動も実施しています。

⑤ このほか、流域全体の清掃活動、パトロールの実施、環境フェア・COP10等で啓発活動も実施しています。

### 工夫した点や苦勞した点

多様な主体を横断的に結び付けて、雲出川流域全体の組織活動を展開することは、これまでの環境保全活動では考えられないことでしたが、雲出川流域を守るというコンセプトで実現できました。各構成員の意向を反映させながら組織運動を展開しています。

### ひとことPR

雲出川の環境を守るための運動開始でしたが、地域間の交流が様々な形で芽生えてきました。山川海ネットワークという観点が人々の意識を水の流れを通じて広がるようになったと思います。



ネットワークの森造成事業



雲出川・家城ラインエコウォーク



香良洲海岸清掃活動&地引綱体験



生物多様性交流フェア出展

## ○ 参考

### 取組の分類

地域人材ネットでは、登録者の取組を11の政策分野に分類しています(複数の分野に該当するものもあります)。

	1	地域経営改革		7	まちなか再生
○	2	地場産品発掘・ブランド化		8	若者自立支援
	3	少子化対策		9	安心・安全なまちづくり
	4	企業立地促進	○	10	環境保全
	5	定住促進		11	その他
	6	観光振興・交流			

### 関連ホームページ

新雲出川物語推進委員会	<a href="http://kumozugawa.net/">http://kumozugawa.net/</a>
-------------	---

戻る